

(社) 日本造園学会関東支部 第7回学生デザインワークショップ

「サマースタジオ 2011」参加者募集

今年度も(社)日本造園学会関東支部企画にて、第7回学生デザインワークショップ「サマースタジオ 2011」を開催いたします。

造園、ランドスケープを学ぶ学生が集い、デザインを通じてお互いの感性を高めあい、議論を深め、社会的な課題に対して具体的な提案をまとめます。

また、若手実務者との交流や、講習会、発表会における真剣な議論は、今後の貴重な財産となるでしょう。興味とやる気のある方は、奮ってご応募ください。なお、ミーティング、講習会の聴講も歓迎いたします。

■ サマースタジオ 2011 概要

テーマ 『大震災・スケール・時間 — Emerging Ground』

2011年3月11日における東日本大震災では、大地震、大津波、原子力発電所事故という三重被害により、東北・関東地方太平洋沿岸地域では1万5千人以上の死者という戦後最大規模の被害が報道され、2011年5月現在においては被害の全貌が明らかになっていないとともに、事態が収束していない。

かつての大都市直下型の震災とは異なり、被災地域には地方中核都市、小規模市町村、広範な農林水産地域、自然地がモザイク状に含まれるため単一の復興計画案では済まされない事態になっている。また、原子力発電所事故は、エネルギー供給施設と巨大都市の関係や都市のライフスタイルについての課題も浮き彫りにした。

本年度のデザインワークショップにおいては、土地の規模や密度、ならびに時間軸を念頭に置き、国土、都市形成におけるランドスケープデザインとして千年確率ともいわれる大震災に対して如何に向き合うべきか、そのアイデアを議論し、具体案である新たに現れるべき大地のイメージ「emerging ground」を提示していくものとする。

■ 概 要

○目 的：

国土・都市形成におけるランド（土地・大地）のデザインの役割を重視し、そのプロセスにおいて、他大学の学生と議論を深め、自主的に考え、学ぶ機会を設ける。これにより、将来を担う幅広い視野を持った人材育成の一助とする。そして、課題を明確に提示する社会性をもったランドスケープデザインを若い世代の実務者と学生が強く意識して取り組む。また、今年度においては震災をテーマにした全国規模の活動に参加し、全国の学生との交流と協働を行う。

○ワーキング：

コアワーキング期間中の中間発表、最終発表で、調査・計画・設計のプロセスを経て、図面、パネル、模型等の制作を行う。その後の関東支部大会等の講習会用のプレゼンテーション資料を制作する。

○対象地：

関東・東北地方の震災の影響を受けた地域・地区を中心に課題に取り組む。

候補地：リアス式海岸・平野部海岸・海浜埋立地（浦安市）・内陸部（我孫子市）等

○運営：

*学生のワークショップ参加費：3000円、関東支部大会交流会参加費：1000円

*チーム編成：4～6人/チーム、3～5チーム程度を編成。

過去の参加大学／慶應義塾大学、多摩美術大学、千葉大学、東京農業大学、東京理科大学、日本大学、明治大学、ほか

*チューター制度：若手のランドスケープ設計実務者（RLA）による指導、助言を行う。

*会場：東京農業大学（準備・発表は9：00～17：00の時間帯に行い、その日ごとに清掃・撤収する）

○スケジュール：

7.16（土） 全体ミーティング（概要説明、チューター他ディスカッションによる課題抽出）

8.20（土） ワーキング始動

8.27（土） 中間発表

9.10（土） 最終発表

9月初旬 東北地方の大学におけるワークショップに有志で参加（予定）

10月 学生デザインワークショップ成果発表（関東支部大会）

11月 全国規模講評会

終了後 メディア発表の準備（ランドスケープデザイン誌、TOPOSなど）

■応募方法

○資格：学校、学部、学年は問わない。

○レポート：下記レポートをEメールにて担当事務局宛にお送り下さい。

レポートはチーム編成の検討資料となります。

1) 学校、学部、学年、氏名、メールアドレス（PC用が望ましい）

2) 以下に対する意見レポートを添付。（600字程度）

a. テーマに対する問題意識

b. サマースタジオへの参加動機

○締切：2011.06.30（木）必着

■問合せ、提出先

○担当事務局：187-0022 東京都小平市花小金井1-9-2-201

（株）プレスマテリア内 霜田亮祐（関東支部幹事企画担当）

TEL：042-460-5801 FAX：042-460-5802

E-mail：ss2011.jila.kanto@gmail.com（本企画専用アドレス）